

発行所 〒802-8651
北九州市小倉北区紺屋町13-1
(公財)毎日新聞西部社会事業団
発行人 木村 雄峰
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009
E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp
01770-2-40213
郵便振替 URL http://www.mainichi.co.jp/seibu_shakaijigyo/

12年度歳末助け合い募金集計

	12年度		11年度		前年度比	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般募金	557	3,961,794	693	4,628,645	-136	-666,851
海外救援金	53	293,000	72	369,678	-19	-76,678
小児がん	84	564,437	92	568,216	-8	-3,779
小計	694	4,819,231	857	5,566,539	-163	-747,308
東日本大震災 救援金	24	773,141	76	6,228,811	-52	-5,455,670
希望奨学金	55	1,248,872	38	423,923	17	824,949
合計	773	6,841,244	971	12,219,273	-198	-5,378,029

12年度は、去る12月12日、北九州市小倉北区紺屋町13-1(公財)毎日新聞西部社会事業団で、12年度歳末助け合い募金集計発表会を開催しました。この日は、12年度の募金総額が6,841,244円、前年度比で198件、5,378,029円減少したことが発表されました。12年度は、去る12月12日、北九州市小倉北区紺屋町13-1(公財)毎日新聞西部社会事業団で、12年度歳末助け合い募金集計発表会を開催しました。この日は、12年度の募金総額が6,841,244円、前年度比で198件、5,378,029円減少したことが発表されました。

歳末助け合い募金
協力ありがとうございました！

少もよこ9比8学 度の4少年総募か前掲夕知月らる集ス
し件びれ円べ8金唯大に万し度件金し書載ツが囉れとまでそ
た数一以の177は一幅比1 に数に、きすフ寄日たとりはの
・般外増件2 増減べ2募比は影長にるはせは。も始1結
金募の加82円55加と5 4金べ7響引追募地ら多特にめ月果
額金指と万で件しな3 4総1 7しくわ金域れくに続、末、
とは定な前円1 たつ7円額9 3た不れ者面、の週々師ご早
も募つ4年2希た万でも8件の景たの紙担振明と走ろい
にず金た9度4望、余前6件とか気、お面当込け寄にかケ
減れお、4に万奨、円年8減前、がし名にス通のせ入ら1

◆寄せられた募金は児童福祉や福祉団体への助成などに活用

今年度の歳末募金は、寄せられた募金の総額が前年度の総額に比べ、はば半減するという厳しいものになった。各募金が件数・金額ともに前年度より大幅に減少し、増加したのは希望奨学金だけだった。

しかし、歳末募金を原資にした児童養護施設や母子施設の子どもたちへの新入学・卒業祝い品プレゼントは例年通り実施することとし、今春小学校に入学予定の子どもや中学・高校を卒業予定の生徒たちを対象に福岡、山口、長崎3県の93カ所の施設を対象に、事前に調査用紙を配布して対象者数などを調べてもらった。

対象者は82施設695人で、新入学児童にはランドセル▽リュックサック(水筒付き)▽手提げ(筆箱付き)▽雨具セット▽図書カードのいずれか希望の品を、中学・高校を卒業予定の子どもたちには目覚し時計か図書カードを贈る。

このほか、歳末募金の第二次配分として山口県の児童福祉連絡会や福岡県の交通遺児を支える会、九州盲導犬協会、福岡・北九州のいのちの電話、北九州あゆみの会、障害福祉ボランティア協会など福祉団体に活動助成金を贈った。しかし、募金額が減少したため昨年度に続き助成額の減額をお願いするなどして、各団体に送金した。



◆タイムカプセルを開封

北九州市の市制30周年記念事業として埋められたタイムカプセル「タイムトラベル20世紀号」が12年12月9日、小倉南区新道寺の社会福祉法人「あすなる学園」で約20年ぶりに開封された＝写真。

カプセル埋設事業は、当事業団や市障害者施設協議会などが主催。あすなる学園が経営する知的障害者支援施設「母原」や市内の学童保育クラブなど約45施設が写真や絵などを持ち寄ってカプセルに入れ、93年9月に学園の玄関横に埋められた。

開封式には施設の利用者ら約40人が参加。球状のカプセルの内部から写真や絵が入ったファイルを取り出した。「お嫁さんに行きたい」「就職したい」など約20年前の夢を書いた文集もあり、利用者らは懐かしそうに見入っていた。

◆第32回「出発を励ます集い」

進学や成人など人生の節目を迎えた知的障害者を祝う「第32回出発を励ます集い」(北九州市、同市手をつなぐ育成会主催、当事業団後援)が1月26日、戸畑区のウェルとばたであった＝写真。

市内で小学校入学、中学校卒業、成人、還暦を迎える64人が対象で、31人が出席した。北橋健治・北九州市長が「障害があってもなくても、地域で安心して暮らせるよう努力したい」とあいさつ。出席者が壇上で記念品を受け取ると家族らから温かい拍手が送られた。障害者を代表し、斉藤静里奈さん(20)が「夢に向かって頑張ります」と決意表明をした。



08年度から売上減少傾向が続く



即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約800人が寄せられた。これら作品を3会場に振り分けて、前年度の即売展で残っていた作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも、特に著名な作家から寄せられた作品約1200点は入札方式とし、2日目に集計して落札者を決めた。

08年度以降、落ち込み傾向が続いている。即売展には、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約800人が寄せられた。これら作品を3会場に振り分けて、前年度の即売展で残っていた作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも、特に著名な作家から寄せられた作品約1200点は入札方式とし、2日目に集計して落札者を決めた。

3月2日毎日会館で年度末展を開催

◆小児がん征圧募金贈呈式 6団体に合計130万円



小児がん征圧募金の贈呈式が3月14日、福岡市の毎日新聞福岡本部であり、募金の配分先となった5団体に100万円、医療福祉事業の助成団体に30万円を贈った。

贈呈されたのは、NPO法人にこスマ九州▽久留米大学病院親の会「木曜会」▽NPO法人こども医療支援わらびの会▽九州がんセンター小児科親の会「大きな木」▽福岡大学病院親の会「みらい」の5団体と医療福祉事業の助成団体・福岡ファミリーハウスの計6団体。岩松城・毎日新聞西部本社編集局長が、各団体の代表に配分金を手渡した＝写真＝。

九州がんセンター小児科親の会「大きな木」の山本章子代表は「昨年、子どもを亡くした親の交流会もスタートさせたので、いただいたお金を活動に役立てたい」と話していた。

今年度も事前PRを置き、チラシの作成・配布、毎日新聞紙上での記事掲載、各会場直前の記者発表、テレビ局によるニュース放映、事業紹介ページでの作品紹介などを実施し、来場者数が増加した。14年度は80万円弱という結果となった。

◆北九州OPENで熱戦を展開

国際車いすテニストーナメント2013北九州～北九州OPEN(NPO法人九州車いすテニス協会主催、毎日新聞西部社会事業団など共催)が3月1日から3日間、北九州市八幡西区の穴生ドームで開かれ、全国各地から参加した約60人の選手が熱いラリーを繰り広げた。

車いすテニスは、ボールが2回バウンドするまで返球可能な点以外はテニスと同じルール。シングルス、ダブルスに出場した選手たちは、車いすを巧みに操りながら、ラケットを手に懸命にボールを追って打ち返していた。

北京パラリンピック出場経験を持つ千葉県柏市の藤本佳伸選手(36)は「良い成績を残し、リオのパラリンピックを目指したい」と話していた。



車いすを自在に操り、熱戦を繰り広げた選手＝穴生ドームで

千チャリテイー即売展
美術ファンでにぎわうも…

全国の一流作家の先生方のご理解とご協力により、毎年実施している当社会事業団恒例の歳末チャリテイー「全国寄贈書画・陶芸品即売展」は12月、北九州、山口、福岡の3会場で順次開催し、多数の美術ファンが詰め掛けた。しかし長引く不景気の影響により、売上高は1400万円弱にとどまった。08年度以降、落ち込み傾向が続いている。

今年度の即売展は、全国の洋画家、日本画家、書家、名刺の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約800人が寄せられた。これら作品を3会場に振り分けて、前年度の即売展で残っていた作品と合わせて展示・即売。いずれの会場でも、特に著名な作家から寄せられた作品約1200点は入札方式とし、2日目に集計して落札者を決めた。